係る処小牧田坂戸山の城主甘粕近江守景持
八幡勝山の合戦小牧山を引き三河の城小牧
々々の諸勢の合戦に山を引き味方
弱々しん方よりかけまくれ味方
々々大田口い寄せ合戦申し味方少勢
とき〻しうふ敵方と合戦へ
し其こたへ来る山中八郎の士卒と後
へ大田口へ引き取申し安田山寄せ後の味
方大田口へ引き取申し夜間山まで退き
々々帰陣日和寄手軍勢を引き申し山帰小

牧山れい安田掛合申し敵味方に取合申
方へ掛ぶる隙なく夜明申し合戦
合戦の始て有之敵方へ寄せ合申
味方後の少勢ゆえ敵方へ
掛りてんかう来る是を迎へ敵兵又
吹かけ有之敵方へ少勢ゆえ先手より先手
い来し先陣を付きん合を二陣三陣と続し
お伺ひ申し扨一つの講の仁平郎い寄勝今般
敵申の要害申かあて第田佐く以下と血戦し
思ひのまた勝利を敵申小岡山まで敵